

田辺工業が優勝

県内高校のロボコン

田辺工業高校(田辺市あけぼの)工作製図部が17日、御坊市であった「きのくに高校生ロボットコンテスト」で優勝した。



優勝した田辺工業高校の工作製図部のメンバー

「きのくにロボットフェスティバル2017」(実行委員会主催)の催しの一つ。県内5校から8チームが出場した。

競技はロボット(2台まで)を操作し、フィールド内に散らばった20個の玉を集めて籠(高さ2・25m)に入れる。制限時間2分間の1回勝負で、入れた玉の数や速さで順位を決めた。

田辺工業は工作製図部の1、2年生約10人が、玉を集めるロボットと集めた玉を籠に入れるロボットを製作。競技では2人で操作し、全ての玉を一度に拾い集め、開始50秒ほどで籠に入れ終わった。

芳養小の山田君特別賞

小中学生の大会

「きのくにロボットフェスティバル2017」では、全

日本小中学生ロボット選手権も開かれた。紀南からは小学生の部で、特別賞のエンジン・アマインド大賞に、田辺市芳養小学校5年の山田登輝央君が選ばれた。

小学生の部には予選を勝ち抜いた42の個人やチームが出場。6足歩行ロボットでコート内のロープをゴールに運ん

だ。紀南では他にも、特別賞のまいど1号大賞に、那智勝浦町勝浦小学校6年の在仲亮太君が入った。

中学生の部には38の個人やチームが出場。ロボットを操作し、コート内のボールに輪を投げ入れた。紀南からは特別賞のイノベーション大賞に、那智勝浦町下里中学校3年の江崎亮介君が選ばれた。